

第4期中期目標期間（令和5事業年度）に係る業務の実績に関する報告書

令和6年6月

長崎県公立大学法人

目次

項目	頁
I 大学の教育研究の質の向上及び地域貢献	
1 教育に関する目標	1
2 研究に関する目標	22
3 地域貢献に関する目標	25
II 業務運営の改善及び効率化	
1 組織運営の改善に関する目標	29
2 人事の適正化に関する目標	33
III 財務内容の改善	
1 財務基盤の強化及び効率的な運営に関する目標	35

項目	頁
IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供	
1 評価の充実に関する目標	36
2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標	38
V その他業務運営	39

○各中期目標の達成状況

I 大学の教育研究の質の向上及び地域貢献に関する目標
1 教育に関する目標

中期目標

(1) 実践的教育のさらなる推進
県の地域的・歴史的特性を生かした「しまなび」プログラムや地域の企業・自治体等と連携した企業インターンシップといった実践的な教育を行い、地域課題の解決に繋がる取組を提案することにより、地域産業の発展と持続可能な地域社会形成を担うリーダーとなる人材や地域等の中核を担う課題解決能力を備えた行政人材を育成する。

(2) 教育の質の向上と保証
学生の視点に立った教育や他大学、産業界などと連携した教育の実施、さらには時代の変化に応じた迅速かつ柔軟な教育プログラムの編成に努めるとともに、学生の学修成果に関する情報の恒常的な収集・分析や可視化などを図り、教育の質の向上と保証に取り組む。

(3) 専門的知識・技術の修得及び外国語運用能力の向上並びにそれを下支えする基盤的教育の充実
各学部学科の特色や社会のニーズに即した専門的知識・技術や外国語運用能力をさらに向上させるとともに、数理・データサイエンス・AI教育を全学的に行い、デジタル社会で活躍するために必要な知識・技術を確実に修得させる。

(4) 大学院課程
高度な専門知識・技術等を修得させるとともに、領域横断的な専門応用能力を涵養する人材の育成を目指し、学生や社会人など多様な分野からの受け入れを推進する。

(5) 学生支援と県内就職向上のための取組の推進
学修環境の整備をさらに充実し、安全・安心な学生生活を送れるよう、多様な学生に寄り添った修学支援や心身の健康管理や経済的支援などの生活支援を実施する。
また、教員と就職課が連携・協力し、学生の希望する進路の実現に向け、進路指導や就職活動の支援を強化することにより、高い就職率を実現するとともに、県内ニーズを捉えた人材育成を行い、県内定着を推進する。

(6) 外国人留学生の受入れ・日本人学生等の海外への派遣及び国際交流の推進
外国人留学生の受入れや日本人学生の派遣留学を積極的に行う等により、学生を様々な価値観に触れさせ、国際感覚を持った多様な人材を養成する。

(7) 入試の適正な実施及び県内高校生の受入促進
入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に沿った入学者選抜を適正に実施するため、入試業務・運営に関するチェック体制のさらなる強化を図る。
また、県内の優秀な学生を入学させるための学校推薦型選抜等の見直しや授業等を通じて県内高校との連携を図り、高大接続の強化を進めるなど、入学促進に積極的に取り組む。

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価 () 内は途中評価結果 (R5~R8)	判断理由 (実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等												
<p>(1) 実践的教育のさらなる推進</p> <p>【1】地域産業の発展と持続可能な地域社会形成を担うリーダーとなる人材を育成するため、地域に根差した「しまなび」プログラムの実施により学生の自律的な学びをさらに進展させるとともに、その成果を踏まえ、本学の特色ある初年次教育の重要な一部として、全学においてプログラムの不断の改善に取り組む。 また、プログラムにおいてSDGsを踏まえた教育内容を充実させる。</p>	<p>①全学的にプログラムの点検を行う体制を整備し、毎年度点検を行うとともに、必要に応じて見直しを行う。</p>		<p>≪達成水準の取組状況≫</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 850 2181 976"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善</td> <td>・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善</td> <td>・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善</td> <td>・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善</td> <td>・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善</td> <td>・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価 (4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価 (6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績) ・フィールドワークについては、コロナ禍以前の行程に戻し実施したが、報告方法はより広く地域への公開がしやすいということからコロナ禍に導入したオンデマンド方式で行うなど良かった点を活かしながら実施した。プログラム実施後は、全学教務委員会を中心に課題整理を行い、物価高騰の影響に伴う経費面やコロナ後の受入先の状況を踏まえて持続可能なプログラムとするため令和6年度以降は行程を短縮する方針となった。 なお、令和6年度は学生が企画・提案した宇久島特産品開発について、観光協会が商品化を決定し実現に向けて進めることとなった。</p> <p>(令和6年度実績) .</p> <p>(令和7年度実績) .</p> <p>(令和8年度実績) .</p> <p>(令和9年度実績) .</p> <p>(令和10年度実績) .</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善	・「しまなび」プログラムの点検の実施及び改善												

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等												
	②プログラムにおいて、SDGsの項目に関連した内容を取り入れるとともに、毎年度その取組を取りまとめ、公開する。		<p>●達成水準②</p> <p>◆各年度取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 233 2175 405"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開</td> <td>・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開</td> <td>・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開</td> <td>・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開</td> <td>・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開</td> <td>・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>（令和5年度実績） ・講義科目でSDGsについて学び、各グループのフィールドワークと該当するSDGs項目を一覧にし大学ホームページにて公開した。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>≪中期計画の達成状況≫</p> <p>【途中評価（4年目終了時）】</p> <p><令和5～8年度の実績の概要> ・</p> <p><令和9～10年度取組予定・中期計画の達成見込> ・</p> <p>【期間評価（6年目終了時）】</p> <p><令和5～10年度の実績の概要> ・</p>	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開		
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度												
・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開	・「しまなび」プログラムにSDGsの項目に関連した内容を取り入れ、その取組を公開												
【2】地域産業の発展と持続可能な地域社会形成を担うリーダーとなる人材を育成するため、「企業インターンシップ」などの実践的教育において、地域社会等のニーズに即した取り組みを行い、その課題解決を目指す。	①実践的教育の優れた取組について、毎年度全学的に共有するとともに、地域への公開を行う。		<p>≪達成水準の取組状況≫</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 1297 2175 1419"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・取組について、全学的に共有、地域への公開</td> <td>・取組について、全学的に共有、地域への公開</td> <td>・取組について、全学的に共有、地域への公開</td> <td>・取組について、全学的に共有、地域への公開</td> <td>・取組について、全学的に共有、地域への公開</td> <td>・取組について、全学的に共有、地域への公開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績報告書に実施した地域社会等のニーズに即した教育について、どのように全学的に共有、地域へ公開したかを記載</p> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>（令和5年度実績） ・全学教務委員会にて各学科から報告のあった取り組みについて共有を行った。また、各学科において受入企業の関係者を招いた報告会や、大学ホームページへ取組の掲載、報告書の配布などにより取組を公開した。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開		
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度												
・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開	・取組について、全学的に共有、地域への公開												

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等												
			<<中期計画の達成状況>> 【途中評価（4年目終了時）】 <令和5～8年度の実績の概要> . <令和9～10年度の取組予定・中期計画の達成見込> . 【期間評価（6年目終了時）】 <令和5～10年度の実績の概要> .														
(2) 教育の質の向上と保証 【3】IR機能の充実により、教学マネジメントに資するデータを随時収集・分析するとともに、その結果を学生や教職員に適宜フィードバックするための体制を整備する。 また、分析結果等を踏まえ、教育内容の改善や研修を実施するほか、必要に応じ他大学、産業界等と連携した教育を取り入れる。	①本学の教育内容を自ら点検・評価し、改善を行うなど、内部質保証の体制を令和5年度中に整備し、令和6年度以降、学生の学修成果等に関する情報について毎年度、全学に向けたフィードバックを行う。また、学修成果の可視化のため、令和7年度までにディプロマ・サプリメントの制度設計を行い、令和8年度から導入する。 ②教員と学生との本学の教育に関する座談会について、令和5年度に検討を行い、令和6年度から実施する。		<<達成水準の取組状況>> ●達成水準① ◆各年度の取組の目安 <table border="1" data-bbox="1142 594 2175 762"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・内部質保証体制の整備</td> <td>・全学に向けたフィードバックの実施</td> <td>・全学に向けたフィードバックの実施 ・ディプロマ・サプリメントの制度設計</td> <td>・全学に向けたフィードバックの実施 ・ディプロマ・サプリメントの制度の導入</td> <td>・全学に向けたフィードバックの実施</td> <td>・全学に向けたフィードバックの実施</td> </tr> </tbody> </table> ◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/> (令和5年度実績) ・教育開発センターにて情報収集、分析、教育改善に関するレポート作成、全学教務委員会にて分析結果の評価、取りまとめを行うという既存の組織体制の役割と分担を明確にし内部質保証体制の整備を行った。また、個人情報保護やセキュリティポリシーに基づき教学情報の取扱いを明確にするため、教学情報の取扱要領を制定した。 (令和6年度実績) . (令和7年度実績) . (令和8年度実績) . (令和9年度実績) . (令和10年度実績) . ※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・内部質保証体制の整備	・全学に向けたフィードバックの実施	・全学に向けたフィードバックの実施 ・ディプロマ・サプリメントの制度設計	・全学に向けたフィードバックの実施 ・ディプロマ・サプリメントの制度の導入	・全学に向けたフィードバックの実施	・全学に向けたフィードバックの実施		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・内部質保証体制の整備	・全学に向けたフィードバックの実施	・全学に向けたフィードバックの実施 ・ディプロマ・サプリメントの制度設計	・全学に向けたフィードバックの実施 ・ディプロマ・サプリメントの制度の導入	・全学に向けたフィードバックの実施	・全学に向けたフィードバックの実施												
			●達成水準② ◆各年度の取組の目安 <table border="1" data-bbox="1142 1329 2175 1407"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・座談会の実施方法等の検討</td> <td>・座談会の実施</td> <td>・座談会の実施</td> <td>・座談会の実施</td> <td>・座談会の実施</td> <td>・座談会の実施</td> </tr> </tbody> </table> ◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/> (令和5年度実績) ・座談会について規模や実施方法を検討し、学生14名、教員5名で試行的に開催し、取組みについて大学ホームページで公表を行った。実施結果等について、今後分析を行い令和6年度以降の本格実施に向けて調整を行う。 (令和6年度実績) . (令和7年度実績) . (令和8年度実績) . (令和9年度実績) . (令和10年度実績) . ※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・座談会の実施方法等の検討	・座談会の実施	・座談会の実施	・座談会の実施	・座談会の実施	・座談会の実施		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・座談会の実施方法等の検討	・座談会の実施	・座談会の実施	・座談会の実施	・座談会の実施	・座談会の実施												

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																																																
	<p>③授業評価アンケートや学生調査を毎年度継続的に実施する。授業評価アンケートの結果に基づき、毎年度教育内容の点検を行うとともに、必要に応じシラバスへ反映させる。</p> <p>④全学、学部、学科、専攻ごとのFD研修会を実施する。FD研修会終了時のアンケートや授業評価における自己点検報告書などを踏まえ、毎年度本学の教育改善に関するレポートを年に1回作成して全学で共有し、教育の質向上に役立てる。 ・全学FD研修会専任教員受講率80%（毎年度）</p> <p>⑤教育の質向上のため、他大学や産業界等と連携した教育を取り入れる。</p>		<p>●達成水準③</p> <p>◆各年度取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 262 2175 409"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映</td> <td>・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映</td> <td>・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映</td> <td>・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映</td> <td>・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映</td> <td>・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>（令和5年度実績） ・授業評価アンケートや学生調査を継続的に実施し、各教員において半期ごとに授業評価アンケート結果に基づいて点検を行い、必要に応じて改善及びシラバスへの反映を行った。なお、令和5年度より通知方法やリマインドの方法を見直し、アンケートの回収率向上を図った。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準④</p> <p>◆各年度取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 966 2175 1029"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 1081 2175 1144"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>92.9%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><補足></p> <p>※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>●達成水準⑤</p> <p>◆各年度取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 1344 2175 1491"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・他大学や産業界と連携した教育の取組状況の調査の実施</td> <td>・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善</td> <td>・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善</td> <td>・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善</td> <td>・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善</td> <td>・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>（令和5年度実績） ・他大学や産業界と連携した教育の取組状況の調査を全学的に実施した。令和6年度以降、各学科の連携状況や傾向等を分析し教育の質向上につながる活用方法等を検討していく。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	80%	80%	80%	80%	80%	80%	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	92.9%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・他大学や産業界と連携した教育の取組状況の調査の実施	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映	・授業アンケートや学生調査の実施及び教育内容の改善、シラバスへの反映																																																
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
80%	80%	80%	80%	80%	80%																																																
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
92.9%																																																					
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
・他大学や産業界と連携した教育の取組状況の調査の実施	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善	・他大学や産業界と連携した教育への取組及び必要に応じた改善																																																

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価 () 内は途中評価結果 (R5~R8)	判断理由 (実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																																																								
			<p>《中期計画の達成状況》 【途中評価 (4年目終了時)】 <令和5~8年度の実績の概要> . <令和9~10年度 of 取組予定・中期計画の達成見込> . 【期間評価 (6年目終了時)】 <令和5~10年度の実績の概要> .</p>																																																																										
<p>(3) 専門的知識・技術の修得及び外国語運用能力の向上並びにそれを下支える基盤的教育の充実</p> <p>【4】 学生に卒業要件を早期に達成させ、必要な専門的知識や技術、外国語運用能力を修得させる。また、毎年度の達成状況及び支援状況を検証し、必要に応じて支援方法の改善を行う。 さらなる学業意欲がある学生に対しては高い目標を定め、その達成を目指す。</p>	<p>①教職員等による学習支援を行い、次の要件を3年修了時まで9割以上の学生に修得させる。</p> <p>ア 経営学部 (ア) 経営学科 日経TEST430点、日商簿記検定2級、FP技能検定2級、リテールマーケティング (販売士) 検定2級のいずれかを修得させる。</p> <p>(イ) 国際経営学科 TOEIC730点を修得させる。</p> <p>イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科 日経TEST430点、ニュース時事能力検定2級のいずれかを修得させる。</p> <p>(エ) 実践経済学科 日経TEST430点を修得させる。</p>		<p>《達成水準の取組状況》 ●達成水準① ◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 640 2175 699"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>9割以上</td><td>9割以上</td><td>9割以上</td><td>9割以上</td><td>9割以上</td><td>9割以上</td></tr> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価 (4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価 (6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>7学科平均</p> <table border="1" data-bbox="1142 787 2175 846"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>69.0%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>ア 経営学部 (ア) 経営学科</p> <table border="1" data-bbox="1142 898 2175 957"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>50.0%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p><補足> 各ゼミごとに進級・卒業要件面談を実施し、早期受験指導やオンデマンドによる特別補講など早期資格取得に向けての取組を行った。今後は、より具体的な受験計画を面談時に行い、早期取得への注意喚起を行っていく。 ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>ア 経営学部 (イ) 国際経営学科</p> <table border="1" data-bbox="1142 1150 2175 1209"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>93.8%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p><補足> ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科</p> <table border="1" data-bbox="1142 1402 2175 1461"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>88.0%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p><補足> 学科ガイダンスにて早期取得について呼びかけを行うとともに、各ゼミで試験結果を確認し指導を行った。また、ゼミや授業時に「資格取得奨励金制度」などを周知し受験を促した。引き続きゼミやガイダンスを通して早期取得の呼びかけや学生指導を行っていく。 ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>イ 地域創造学部 (エ) 実践経済学科</p> <table border="1" data-bbox="1142 1686 2175 1745"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>72.9%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p><補足> 4年生の未達成者向けに実施していたオンラインの学習支援を3年生まで範囲を広げたほか、1・2年次配当の講義を開放し3年生以上が自由に聴講し自己学習に活かせるように対応した。また、試験の直前には勉強会を開催し早期取得に向けて取組みを行ったが達成には至らなかった。今後は、日経TESTの関連科目を段階的かつ継続的にできるようカリキュラムの見直しを含めて体制の検討をしていく。 ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	9割以上	9割以上	9割以上	9割以上	9割以上	9割以上	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	69.0%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	50.0%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	93.8%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	88.0%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	72.9%							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																								
9割以上	9割以上	9割以上	9割以上	9割以上	9割以上																																																																								
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																								
69.0%																																																																													
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																								
50.0%																																																																													
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																								
93.8%																																																																													
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																								
88.0%																																																																													
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																								
72.9%																																																																													

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																																				
	<p>ウ 国際社会学部 （オ）国際社会学科 【英語選択者】 TOEIC730点を修得させる。 【中国語選択者】 中国語検定2級を修得させる。</p> <p>エ 情報システム学部 （カ）情報システム学科 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、Webデザイナー検定エキスパート、CGクリエイター検定エキスパート、CGエンジニア検定エキスパート、画像処理エンジニア検定エキスパートのいずれかを修得させる。</p> <p>（キ）情報セキュリティ学科 情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験のいずれかを修得させる。</p>		<p>ウ 国際社会学部 （オ）国際社会学科</p> <table border="1" data-bbox="1142 231 2175 289"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><補足> 各ゼミで進級・卒業に必要な単位に漏れが生じないよう指導するとともに、英語特別講座の実施、eラーニング教材の活用、TOEIC特別対策などの取組を行った。また、オンラインIPテストを追加し受験機会を増やしたが達成には至らなかった。要因として、現在のカリキュラムが学年が上がるにつれ自己学習頼りな体制となっていることが考えられるため、早期受験を促す対応を行いながら継続的に学習する時間を確保できる履修体制となるようカリキュラムの見直しを含めて検討していく。 ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>エ 情報システム学部 （カ）情報システム学科</p> <table border="1" data-bbox="1142 562 2175 621"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>86.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><補足> 学科教員及び学外講師による対策講座や個別支援、問題集の配布などを継続的に行ったが、達成には至らなかった。要因として、令和5年度から基本情報技術者試験が通年受験となったことで卒業要件資格の選択や受験時期の決定が遅れたことが考えられるため、学生の受験する資格の選択や受験予定日の確認と促進をより強化していく。 ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>エ 情報システム学部 （キ）情報セキュリティ学科</p> <table border="1" data-bbox="1142 894 2175 953"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><補足> 模擬試験や個別支援などを継続的に行った。令和5年度の3年次生は学生数が倍増した学年であることも影響している可能性がある（合格者の実数は令和4年度の38名から53名に増加している）。今後は、学科の指導・支援体制の一層の充実化を図るとともに、学科ガイダンスにより学生に対して早期取得の意義を認識させ取得の動機付けを強化していく。 ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	45.8%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	86.8%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	67.1%							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
45.8%																																									
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
86.8%																																									
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
67.1%																																									

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																																						
	<p>②さらなる学業意欲がある学生に対して、①の要件を超える高い目標を設定して組織的に指導・支援を行い、その達成を目指す。ただし、看護栄養学部においては、看護師または管理栄養士の国家試験合格率100%を目標に設定する。</p> <p>ア 経営学部 (ア)経営学科が掲げる高い目標 ○経営に関する基礎理論と企業等が活動する社会の仕組みについて基本的な知識を深める。2年次、3年次の実践科目において、地域経営体が抱える課題に対する解決策、地元での起業につながる新規ビジネスプランを提案させる。このようにして実践力を身に付けさせ、地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文を提出する学生数が5名以上となることを目指す。</p> <p>○卒業年次までに学生のうち1割以上が卒業要件の上位レベル(日商簿記検定1級、全経簿記能力検定上級、リテールマーケティング(販売士)検定1級、日経TEST520点のいずれか)に到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。</p> <p>(イ)国際経営学科が掲げる高い目標 ○海外ビジネス研修等の経験を積み、国際的な経営感覚を身につけさせるとともに、学業意欲を向上させ、卒業年次までに学生のうち1割以上がTOEICのAレベル(860点)に到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。</p>		<p>●達成水準② ア 経営学部 (ア)経営学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 443 2175 661"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 720 2175 848"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出 卒業要件の上位レベル到達</p> <p>(令和5年度実績) ・地域提案型の卒業論文について、演習時に取組みを促し適格基準を満たすよう指導を行った。 ・上位レベルの資格取得について、教養セミナーや授業時、ゼミで個別面談を行い上位レベルを目指すよう指導するとともに、資格の取得状況を学科全体で共有、進捗管理することで学科全体での指導に繋がった。</p> <p>(令和6年度実績) ・</p> <p>(令和7年度実績) ・</p> <p>(令和8年度実績) ・</p> <p>(令和9年度実績) ・</p> <p>(令和10年度実績) ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準② イ 国際経営学科 (イ)国際経営学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 1381 2175 1470"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・TOEIC860点以上[1割以上]</td> <td>・TOEIC860点以上[1割以上]</td> <td>・TOEIC860点以上[1割以上]</td> <td>・TOEIC860点以上[1割以上]</td> <td>・TOEIC860点以上[1割以上]</td> <td>・TOEIC860点以上[1割以上]</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 1528 2175 1585"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和5年度実績) ・専門演習担当教員から、より高い点数取得を目指すように声かけや指導を行った。</p> <p>(令和6年度実績) ・</p> <p>(令和7年度実績) ・</p> <p>(令和8年度実績) ・</p> <p>(令和9年度実績) ・</p> <p>(令和10年度実績) ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	1名						7.4%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	1.5%							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																						
・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・地域経営体の発展につながる提案型の卒業論文の提出[5名以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]																																																						
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																						
1名																																																											
7.4%																																																											
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																						
・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]	・TOEIC860点以上[1割以上]																																																						
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																						
1.5%																																																											

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価 () 内は途中評価結果 (R5~R8)	判断理由 (実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																																																				
	<p>イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科が掲げる高い目標 ○公共性の高い地域貢献活動等の経験を積ませることによって学生の社会貢献意識を高めさせるとともに、教育による能力開発や日々の生活指導を積極的に行うことで、公務員を希望する学生の公務員就職率を60%とすることを旨とする。 ○卒業年次までに学生の1割以上が卒業要件の上位レベル(日経TEST520点、ニュース時事能力検定1級のいずれか)に到達できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。</p> <p>(エ) 実践経済学科が掲げる高い目標 ○「企業インターンシップ」(2年次必修科目)において、教員が事前指導、成果発表会、事後指導を行い、学生に対して実践力(諸課題の分析、解決能力等)を身に付けさせる。その結果5割以上の学生が、受入企業に対して課題提案を行うこと等を通じて高い評価を受けることを旨とする。 ○卒業年次までに学生のうち1割以上が卒業要件の上位レベル(日経TEST520点)に到達できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。</p>		<p>●達成水準② イ 地域創造学部 (ウ) 公共政策学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 262 2175 457"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績</p> <table border="1" data-bbox="1142 483 2338 646"> <thead> <tr> <th colspan="2">【途中評価(4年目終了時)】</th> <th colspan="2">【期間評価(6年目終了時)】</th> </tr> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>公務員を希望する学生の公務員就職率 卒業要件の上位レベル到達</p> <p>(令和5年度実績) ・就職課から提供のあったイベント等の情報について、ゼミを通じて提供し参加を呼びかけるとともに公共機関インターンシップ、県内自治体職員による鼎談、公共政策学科就職セミナー、県内自治体等バスツアーを実施した。</p> <p>(令和6年度実績) ・</p> <p>(令和7年度実績) ・</p> <p>(令和8年度実績) ・</p> <p>(令和9年度実績) ・</p> <p>(令和10年度実績) ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準② イ 地域創造学部 (エ) 実践経済学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 1144 2175 1354"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> <td>・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績</p> <table border="1" data-bbox="1142 1375 2338 1543"> <thead> <tr> <th colspan="2">【途中評価(4年目終了時)】</th> <th colspan="2">【期間評価(6年目終了時)】</th> </tr> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>23.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける 卒業要件の上位レベル到達</p> <p>(令和5年度実績) ・事前指導として基本的な心構え、マナー、企業研究や事前課題の検討を踏まえた事前報告会を実施したうえで10日間の企業インターンシップを行った。実施後は成果報告会を実施するとともに令和5年度より自己評価と他者評価を行うことで実践力の定着化を図った。 ・上位レベル資格については、試験前の勉強会の実施や社会経済全般の知識習得手法に力点を置いた指導を行うことで達成を目指した。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	【途中評価(4年目終了時)】		【期間評価(6年目終了時)】		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	58.4%						6.5%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	【途中評価(4年目終了時)】		【期間評価(6年目終了時)】		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	47.5%						23.1%							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																				
・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・公務員を希望する学生の公務員就職率[60%] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]																																																																				
【途中評価(4年目終了時)】		【期間評価(6年目終了時)】																																																																							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																				
58.4%																																																																									
6.5%																																																																									
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																				
・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]	・受入企業に対する課題提案等を通じて高い評価を受ける[5割以上] ・卒業要件の上位レベル到達[1割以上]																																																																				
【途中評価(4年目終了時)】		【期間評価(6年目終了時)】																																																																							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																				
47.5%																																																																									
23.1%																																																																									

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																																				
	<p>ウ 国際社会学部 （オ）国際社会学科が掲げる高い目標</p> <p>○【英語選択者】 国際情勢や経済、メディアについて英語で解説する授業科目を多く取り入れ、学生の国際感覚を磨く。さらなるコミュニケーション能力の向上を目指し、卒業年次までに英語選択者の1割以上がTOEICのAレベル（860点）または他の検定において同レベルに到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。</p> <p>【中国語選択者】 国際情勢や経済、メディアについて中国語で解説する授業科目を多く取り入れ、学生の国際感覚を磨く。さらなるコミュニケーション能力の向上を目指し、中国語選択者の半数以上が中国語検定準1級、または他の検定において同レベルに到達できるよう組織的に指導・支援し、達成を目指す。</p>		<p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準② ウ 国際社会学部 （オ）国際社会学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 569 2175 762"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]</td> <td>【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]</td> <td>【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]</td> <td>【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]</td> <td>【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]</td> <td>【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]</td> </tr> <tr> <td>【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]</td> <td>【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]</td> <td>【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]</td> <td>【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]</td> <td>【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]</td> <td>【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 821 2175 947"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>TOEIC860点以上 中国語検定準1級</p> <p>（令和5年度実績） ・英語又は中国語を主に用いた科目を開講し、より高度な語学力が身に付けられる環境とするとともに高い語学力を取得している学生を積極的に採用している企業等の情報を提供することで、学習意欲向上を図った。なお、令和5年度の4年次生の中国語選択者は3名であった。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	5.2%						0.0%							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]	【英語選択者】 TOEIC860点以上 [1割以上]																																				
【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]	【中国語選択者】 中国語検定準1級 [半数以上]																																				
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
5.2%																																									
0.0%																																									

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価 () 内は途中評価結果 (R5~R8)	判断理由 (実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																																
	<p>エ 情報システム学部 (カ) 情報システム学科が掲げる高い目標 ○次の資格取得者、イベント等での参加者及び入賞者を卒業年次までに総計5名以上輩出できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 【資格】 ・情報処理技術者試験レベル3以上 ・情報技術分野(基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験)と情報デザイン分野(CG-ARTS検定エキスパート(マルチメディア検定を除く))の両分野における卒業要件資格の複数取得 【イベント等】 ・情報技術系コンテスト入賞(プログラミング・アプリケーション開発) ・情報デザイン系コンテスト入賞(映像・CG・グラフィックデザイン) ・課題解決系ビジネスコンテスト入賞 ・九州大会以上の学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表</p> <p>(キ) 情報セキュリティ学科が掲げる高い目標 ○次の資格取得者、イベント等への参加者及びこれらと同等以上のレベルを達成した学生を卒業年次までに総計8名(ただし令和5年度については5名)以上輩出できるよう組織的に指導・支援し達成を目指す。 【資格】 ・国際的なセキュリティ資格(CompTIA Security+) ・国際的なネットワークベンダ資格(シスコ社 CCENT/CCNA Security) ・情報処理技術者試験レベル3以上 ・スキル標準ユーザー協会が公表している「ITSSのキャリアフレームワークと認定試験・資格とのマップ」記載の資格レベル3以上 【イベント等】 ・情報技術系コンテストで予選通過、または上位50%以上の順位取得(プログラミング・アプリケーション開発) ・選抜あり情報系人材育成プログラムで修了認定 ・Basic SecCapコースにおいて、Basic SecCap8またはBasic SecCap10認定 ・課題解決系ビジネスコンテスト入賞 ・九州大会以上の学会・研究会・シンポジウムへの投稿・発表</p>		<p>●達成水準② エ 情報システム学部 (カ) 情報システム学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 231 2175 357"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 415 2175 478"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和5年度実績) ・各資格取得対策に参加した学生を対象に複数資格取得を推奨するとともに、応用情報技術者試験については学内教員が希望者を対象に試験対策を実施した。また、学科ガイダンスにて全学年に「資格取得ロードマップ」を配付し高い目標を達成すれば奨励賞の対象となることの説明やゼミでイベントの参加周知を行うなど組織的に支援を行った。</p> <p>(令和6年度実績) .</p> <p>(令和7年度実績) .</p> <p>(令和8年度実績) .</p> <p>(令和9年度実績) .</p> <p>(令和10年度実績) .</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準② エ 情報システム学部 (キ) 情報セキュリティ学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 1045 2175 1171"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]</td> <td>・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 1230 2175 1293"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和5年度実績) ・コミュニケーションスペースへの各試験、イベントのポスター掲示やゼミでの案内、他の学生の受賞状況等を周知するなど自発的な参加を推進した。</p> <p>(令和6年度実績) .</p> <p>(令和7年度実績) .</p> <p>(令和8年度実績) .</p> <p>(令和9年度実績) .</p> <p>(令和10年度実績) .</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	10名						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	11名							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]																																																
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
10名																																																					
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[5名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]	・資格取得者、イベント等での入賞者の輩出等[8名以上]																																																
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
11名																																																					

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																																																
	<p>オ 看護栄養学部 （ク）看護学科 ○看護師国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。</p> <p>（ケ）栄養健康学科 ○管理栄養士国家試験において合格率100%を目指し、少なくとも国公立大学平均水準を確保する。</p>		<p>●達成水準② オ 看護栄養学部 （ク）看護学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 262 2175 359"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 422 2175 478"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96.2%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（令和5年度実績） ・52名中50名合格 ・国公立平均 98.1% ・国試対策委員会を中心に模擬試験の実施、eラーニング教材の活用、学外業者・学内教員による補講の実施、ゼミ担当教員・国試対策委員による学習状況の確認と支援を行った。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準② オ 看護栄養学部 （ケ）栄養健康学科が掲げる高い目標</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 1039 2175 1136"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> <td>・国公立大学の合格率平均水準の確保</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 1199 2175 1255"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>89.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（令和5年度実績） ・39名中35名合格 ・国公立平均 92.2% ・令和5年度においては、事故等により休学をせざるを得ない状況の学生など、個々の事情による対策の難しさがあったが、国試対策委員会を中心に定期的に面談を実施するとともに、模試の合格ボーダーライン付近の学生には重点的に個別指導を行った。また、国試対策科目（選択科目）の受講を促すとともに、「模試やりなおし学習ノート」をゼミ単位で管理するなど、より一人ひとりへの支援が行き渡るように対策を行った。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	96.2%						R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	89.7%							
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																																
・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保																																																
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																																
96.2%																																																					
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																																
・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保	・国公立大学の合格率平均水準の確保																																																
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																																
89.7%																																																					

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等												
			<<中期計画の達成状況>> 【途中評価（4年目終了時）】 <令和5～8年度の実績の概要> . <令和9～10年度の取組予定・中期計画の達成見込> . 【期間評価（6年目終了時）】 <令和5～10年度の実績の概要> .														
【5】全学必修科目として展開している「数理・データサイエンス・AI教育」を充実させ、デジタル時代に親和性のある人材を育成する。	①令和5年度中に文部科学省による「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の認定を受ける。また、不断に教育効果の点検を行い、必要に応じプログラムの改善を行う。		<<達成水準の取組状況>> ●達成水準① ◆各年度の取組の目安 <table border="1" data-bbox="1142 590 2175 716"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・文部科学省の認定を受ける。</td> <td>・教育効果の点検 ・プログラムの改善</td> <td>・教育効果の点検 ・プログラムの改善</td> <td>・教育効果の点検 ・プログラムの改善</td> <td>・教育効果の点検 ・プログラムの改善</td> <td>・教育効果の点検 ・プログラムの改善</td> </tr> </tbody> </table> ◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/> （令和5年度実績） ・令和5年8月25日付でプログラムの認定を受けた。講義の内容や実施状況についても、データサイエンス教育専門部会での自己点検及び全学教務委員会からの評価の結果、順調に進捗していると考えられる。 （令和6年度実績） . （令和7年度実績） . （令和8年度実績） . （令和9年度実績） . （令和10年度実績） . ※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。 <<中期計画の達成状況>> 【途中評価（4年目終了時）】 <令和5～8年度の実績の概要> . <令和9～10年度の取組予定・中期計画の達成見込> . 【期間評価（6年目終了時）】 <令和5～10年度の実績の概要> .	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・文部科学省の認定を受ける。	・教育効果の点検 ・プログラムの改善	・教育効果の点検 ・プログラムの改善	・教育効果の点検 ・プログラムの改善	・教育効果の点検 ・プログラムの改善	・教育効果の点検 ・プログラムの改善		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・文部科学省の認定を受ける。	・教育効果の点検 ・プログラムの改善	・教育効果の点検 ・プログラムの改善	・教育効果の点検 ・プログラムの改善	・教育効果の点検 ・プログラムの改善	・教育効果の点検 ・プログラムの改善												

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価 () 内は途中評価結果 (R5~R8)	判断理由 (実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																				
<p>(4) 大学院課程</p> <p>【6】学内外者を対象とした入試説明会等の実施により学生や社会人など多様な分野からの受け入れを推進し、定員充足を維持する。</p> <p>また、領域・キャンパス横断的な講義・演習科目に対する取組・実施方法の工夫を図り、領域横断的な専門応用能力を備えた地域創生に資する人材の育成を目指す。</p>	<p>①本学学部からの進学者を積極的に受け入れるため学内での入試説明会を毎年度2回以上実施する。また、多様な社会人を幅広く受け入れるために、連携協定等の締結先をはじめ、行政機関や企業等を対象に大学院の制度や教育研究内容に関する説明会を毎年度2回以上実施する。</p> <p>・大学院収容定員充足率100%</p> <p>②長期履修制度や昼夜開講制度、オンラインでの授業や研究指導を柔軟に活用することで、大学院生の学修環境の改善を行う。また、受講者の満足度(授業評価)を高く維持できるよう継続的改善を図る。</p>		<p>《達成水準の取組状況》</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 262 2175 321"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 380 2175 438"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>144.6%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><補足> 各専攻において積極的にオリエンテーションや講義時間を活用した学内向け説明会や行政機関や企業、病院等での学外説明会を実施した。</p> <p>※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 657 2175 779"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・学生の学び、満足度が高まるよう授業実施体制の改善</td> <td>・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善</td> <td>・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善</td> <td>・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善</td> <td>・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善</td> <td>・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績) ・昼夜開講やオンライン授業、オンデマンド型授業など様々な授業形態を活用し社会人学生でも学びやすい授業体制の整備に努めた。また、学生の学修満足度を継続的に維持できるよう大学院でのリカレント教育の重要性や研究倫理について教員自身が再度学ぶFD研修会を実施した。</p> <p>(令和6年度実績) ・</p> <p>(令和7年度実績) ・</p> <p>(令和8年度実績) ・</p> <p>(令和9年度実績) ・</p> <p>(令和10年度実績) ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>《中期計画の達成状況》</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要> ・</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込> ・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要> ・</p>	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	100%	100%	100%	100%	100%	100%	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	144.6%						R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・学生の学び、満足度が高まるよう授業実施体制の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善		
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																				
100%	100%	100%	100%	100%	100%																																				
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																				
144.6%																																									
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																				
・学生の学び、満足度が高まるよう授業実施体制の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善	・学生の学び、満足度が高まるよう学修環境等の改善																																				

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																																																													
<p>【8】教員と就職課が連携・協力し、進路指導や就職活動の支援を強化することにより、高い就職率を維持する。また、地域等の中枢を担う行政職等への就職を希望する学生の支援として、学内外の優れた取組を全学で共有するなど、その方法の検討を行う。</p>	<p>①就職希望者全員が就職できるように支援していくとともに、就職率（就職希望者に対する就職者の割合）については、次の水準を維持する。 ・就職希望者の就職率95% ※景気変動等による全国大学平均就職率の変動を考慮する。</p>		<p>《達成水準の取組状況》 ●達成水準① ◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 262 2175 321"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 380 2175 575"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全学部</td> <td>99.5%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経営</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域創造</td> <td>99.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国際社会</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報システム</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護栄養</td> <td>98.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><補足> ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>《中期計画の達成状況》 【途中評価（4年目終了時）】 <令和5～8年度の実績の概要> ・ <令和9～10年度の取組予定・中期計画の達成見込> ・</p> <p>【期間評価（6年目終了時）】 <令和5～10年度の実績の概要> ・</p>	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	95%	95%	95%	95%	95%	95%		R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	全学部	99.5%						経営	100.0%						地域創造	99.1%						国際社会	100.0%						情報システム	100.0%						看護栄養	98.7%							
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																																													
95%	95%	95%	95%	95%	95%																																																													
	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																																												
全学部	99.5%																																																																	
経営	100.0%																																																																	
地域創造	99.1%																																																																	
国際社会	100.0%																																																																	
情報システム	100.0%																																																																	
看護栄養	98.7%																																																																	

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																																				
<p>【9】学生が主体的に県内自治体や県内企業等を選択する意思決定の支援として、県内企業等による企業説明会や県内企業等に就職した卒業生との交流会の開催など、県内就職の魅力を伝える取り組みを実施する。また、県及び県内企業等との連携による取り組みを通じて、教職員においても県内就職・県内企業等への理解を深め、教職員の役割分担に基づいた協働により、学生の県内定着促進に取り組む。</p> <p>県内就職向上プロジェクトチームにおいては、県内就職向上を具体化するための計画を策定するとともに、学内取組状況を把握し、必要に応じて改善を行う。</p>	<p>①新規学卒就職者に対する県内就職者の割合44%（令和7年度）を目指し、以下の取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内就職向上プロジェクトチームにおける計画策定及び進捗管理等 ・教職員が連携して実施する、県内企業等に就職した卒業生との交流会開催 ・教職員と県内企業等との情報交換（県内企業訪問等 300社） ・学科の特色や学生のスキルに合わせた、個別学生への働きかけを含む県内就職（誘致企業等への就職を含む）支援の展開 		<p>＜達成水準の取組状況＞</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 262 2175 317"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44%</td> <td>44%</td> <td>44%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和8年度以降の数値目標については次期総合計画にあわせて検討</p> <table border="1" data-bbox="1142 373 2175 449"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・左記に記載の取組の状況</td> <td>・左記に記載の取組の状況</td> <td>・左記に記載の取組の状況</td> <td>・左記に記載の取組の状況</td> <td>・左記に記載の取組の状況</td> <td>・左記に記載の取組の状況</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績報告書には、左記の取組以外で行ったものも記載</p> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 506 2175 560"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36.3%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（令和5年度実績） 県内就職率36.3%（県内出身者の県内定着率62.1%） 新規学卒就職者600名のうち、県内就職者数218名 →県内就職者数218名のうち、県内公務員就職者数52名、県内学校教員就職者数5名 ・学長のもと、県内就職向上プロジェクトチーム（以下、県内就職向上PT）会議を4回開催し、学内取組実績の共有や県内就職向上を具体化するための計画策定、進捗管理を行ったほか、学科から企画・要望のあった県内就職に係る予算を配分し、各学科の特色を活かした取組を新たに実施した。取組後はその課題や成果等について、県内就職向上PT会議で共有した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員が連携して実施する、県内企業等に就職した卒業生との交流会を6回開催するとともに、企業説明会等でも企業側に多くの卒業生を派遣していただいた。 ・教職員と県内企業等との情報交換 県内企業訪問等 720社 ・県内就職向上PTで掲げた方針に基づき、学科の特色にあった、県内自治体や県内企業等を知る機会を学生に提供した。多くの学生が県内企業等との接点を持てるよう、授業やゼミの時間を活用するなど、工夫して実施した。 <p>＜県内企業等を知る機会の例＞ 「企業見学会（佐世保工業会、海外ビジネス研修先等）」「意見交換会（長崎労働局等）」「地元経済界の経営者との座談会」「公共機関インターンシップ先以外の自治体等対象バスツアー」「県内IT関連企業情報の学生への周知」「県内企業との協働」「県内病院合同説明会」「県内企業内定者（4年生）との座談会」「企業インターンシップ」「公共機関インターンシップ」等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内就職支援員は、「県内企業等の情報収集」を行う一方、学科等と連携し、授業やゼミの時間を通じて「県内企業情報等を学生に提供」するとともに、「インターンシップ後のアフターフォロー」の活動を行った。 ・就職課においては、長崎労働局や県、学科や県内就職支援員等とも連携しながら、「企業見学会」「学内合同業界セミナー」「業界企業研究会」「就職実践セミナー」等を開催するとともに、推薦求人への拡大といった、県内就職に繋がる取組を行った。そのほか、個別相談において、学生のニーズに合わせた県内企業への訪問を調整して学生を実際に訪問させるなど、選考に繋げる対応も行った。 ・そのほかの県内定着に向けた取組としては、長崎県に愛着のある学生の育成を目指して、県の魅力や地域の特異性に加え、長崎での就業・定着を意識させる内容の授業等を低学年次から実施した。 <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>＜中期計画の達成状況＞ 【途中評価（4年目終了時）】 <令和5～8年度の実績の概要> ・ <令和9～10年度の取組予定・中期計画の達成見込> ・</p> <p>【期間評価（6年目終了時）】 <令和5～10年度の実績の概要> ・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	44%	44%	44%	—	—	—	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	36.3%							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
44%	44%	44%	—	—	—																																				
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況	・左記に記載の取組の状況																																				
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
36.3%																																									

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																																				
<p>【12】国内外の意欲的かつ優秀な学生の獲得を目指すとともに、県内高校との連携を図り高大接続の強化を行う。</p>	<p>①「大学入学共通テストにおける県内志願者数」に占める「本学一般選抜における県内志願者数」の割合が第3期中期計画最終年度を基準として上昇傾向にある。</p> <p>②高校への各種広報の充実を図る。</p>		<p>＜達成水準の取組状況＞</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 262 2181 325"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25%</td> <td>25%</td> <td>25%</td> <td>25%</td> <td>25%</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※参考 令和4年度（第3期中期計画最終年度）実績：25.0%</p> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1142 378 2181 441"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（令和5年度実績） ・出前講義や高大連携理科実験等の講座を開催したほか、離島オープンキャンパスや入試連絡会を通して県内高校に積極的に情報発信を行った。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 945 2181 1018"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・各種広報の充実</td> <td>・各種広報の充実</td> <td>・各種広報の充実</td> <td>・各種広報の充実</td> <td>・各種広報の充実</td> <td>・各種広報の充実</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績報告書において、検証や改善をしてどのように充実を図ったかを記載</p> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>（令和5年度実績） ・オープンキャンパス、高校訪問、進学ガイダンス、大学案内等広報媒体の送付など高校へ向けた広報を充実させた。近年、進学ガイダンスへの参加ではなく高校内で出前講義等を実施するスタイルが増加傾向であることを踏まえ、出前講義や母校いけばいプログラムをより積極的に実施することが進学広報として有用であるとし、ホームページのみ周知していたこの2つの活動についてチラシを作成し、各高校への送付や高校訪問時にPRするなど広報活動の充実化を図った。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	25%	25%	25%	25%	25%	25%	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	26.7%						R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・各種広報の充実	・各種広報の充実	・各種広報の充実	・各種広報の充実	・各種広報の充実	・各種広報の充実		
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																				
25%	25%	25%	25%	25%	25%																																				
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																				
26.7%																																									
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																				
・各種広報の充実	・各種広報の充実	・各種広報の充実	・各種広報の充実	・各種広報の充実	・各種広報の充実																																				

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																								
	<p>③県教育委員会との「高大連携のあり方」についての協議を定期的 に実施する。さらに、県内志願者 獲得のため、県内高校へ積極的に 情報発信し、在学生による母校い くばいプログラムや高校の課題探 究型学習等での連携、高校生向け の出前講義及び学内での体験学習 等を開催する。</p> <p>④令和4年度入試から実施した現 行の入試制度の検証を進め、その 検証結果及び高校教育の動向を踏 まえ、学校推薦型選抜等の入試制 度の見直しを検討する。</p>		<p>●達成水準③</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 231 2175 378"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施</td> <td>・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施</td> <td>・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施</td> <td>・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施</td> <td>・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施</td> <td>・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>（令和5年度実績） ・県教育委員会との連絡協議会を開催し、高大連携等に関する意見交換を行った。また、出前講義、一日大学生、高大連携理科実験等の体験学習を開催し県内高校へ積極的に情報発信を行った。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準④</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 913 2175 1018"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・入試制度の検証及び見直しの検討</td> <td>・入試制度の検証及び見直しの検討</td> <td>・入試制度の検証及び見直しの検討</td> <td>・入試制度の検証及び見直しの検討</td> <td>・入試制度の検証及び見直しの検討</td> <td>・入試制度の検証及び見直しの検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>（令和5年度実績） ・各学科及び全学入試委員会で入試制度の見直しを検討し、3月に決定したものを公表した。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討		
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																								
・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施	・教育委員会との協議の実施 ・県内志願者獲得のための各種取組の実施																								
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																								
・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討	・入試制度の検証及び見直しの検討																								

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価（）内は途中評価結果（R5～R8）	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等												
	⑤渡日前入試を実施する。		<p>●達成水準⑤</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1142 262 2175 338"> <thead> <tr> <th>R 5 年度</th> <th>R 6 年度</th> <th>R 7 年度</th> <th>R 8 年度</th> <th>R 9 年度</th> <th>R 1 0 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・渡日前入試の実施</td> <td>・渡日前入試の実施</td> <td>・渡日前入試の実施</td> <td>・渡日前入試の実施</td> <td>・渡日前入試の実施</td> <td>・渡日前入試の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>（令和5年度実績） ・ベトナム国内にて全ての学科で渡日前入試を計画し積極的な広報活動を行い、令和5年度は1名が志願した。しかし、志願者が出願要件を満たしておらず出願取消となったため入試の実施には至らなかった。</p> <p>（令和6年度実績） ・</p> <p>（令和7年度実績） ・</p> <p>（令和8年度実績） ・</p> <p>（令和9年度実績） ・</p> <p>（令和10年度実績） ・</p> <p>※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>《中期計画の達成状況》 【途中評価（4年目終了時）】 <令和5～8年度の実績の概要> ・ <令和9～10年度の取組予定・中期計画の達成見込> ・</p> <p>【期間評価（6年目終了時）】 <令和5～10年度の実績の概要> ・</p>	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施		
R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度												
・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施	・渡日前入試の実施												

I 大学の教育研究の質の向上及び地域貢献に関する目標
2 研究に関する目標

中期目標 (8) 産学官連携の共同研究の推進
地域の社会課題の解決のため、民間企業、研究機関、自治体等との連携・共同研究・受託研究を推進する。
また、情報セキュリティ産学共同研究センターにおいては、産学の共創の場として、先進的な研究に取り組む。
(9) 研究水準の向上と成果の公表
国内外の大学等との共同研究の推進等により、研究水準の向上を図るとともに、研究成果を積極的に公表し、社会に還元する。

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果 (R5~R8)	判断理由 (実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																								
<p>(8) 産学官連携の共同研究の推進</p> <p>【13】 地域連携センターを中心に、企業、自治体等との連携・研究のマッチングなどを行い、本学の強み・特色を生かした共同研究・受託研究を推進する。</p>	<p>①共同研究と受託研究の合計件数 25件 (毎年度)</p>		<p>≪達成水準の取組状況≫</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> <td>25件</td> </tr> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価 (4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価 (6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>20件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><補足> 研究シーズの大学ホームページ掲載や地域連携センターパンフレットの配付、D-FLAGでの企業面談など研究推進やマッチングに向けた取組を行った。令和6年度以降は、シーズ集を冊子化し地域連携センターパンフレットと一緒に県内各所に送付することで研究内容の周知に努める。 ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>≪中期計画の達成状況≫</p> <p>【途中評価 (4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要> .</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込> .</p> <p>【期間評価 (6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要> .</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	25件	25件	25件	25件	25件	25件	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	20件							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
25件	25件	25件	25件	25件	25件																								
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
20件																													
<p>【14】 情報セキュリティ産学共同研究センターにおいて、企業等と連携し、産学の共創の場として学術的・先進的な研究に取り組む。</p>	<p>①共同研究数 39件 (令和7年度までの累計)</p>		<p>≪達成水準の取組状況≫</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>11件</td> <td>25件</td> <td>39件</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>※令和8年度以降の数値目標については次期総合計画にあわせて検討</p> <p>◆各年度の実績 【途中評価 (4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価 (6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>25件 (25件)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>累計 (単年度)</p> <p><補足></p> <p>※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	11件	25件	39件	—	—	—	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	25件 (25件)	()	()					
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
11件	25件	39件	—	—	—																								
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
25件 (25件)	()	()																											

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																																																																				
			<<中期計画の達成状況>> 【途中評価(4年目終了時)】 <令和5~8年度の実績の概要> . <令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込> . 【期間評価(6年目終了時)】 <令和5~10年度の実績の概要> .																																																																																						
(9) 研究水準の向上と成果の公表 【15】 国内外の大学等との共同研究の推進等により、研究水準の向上を図る。また、研究成果等を積極的に公表する。	①国内外の大学等の研究者などとの共著による研究論文発表数30件(毎年度) ②研究論文数、学会発表数、著書数は第3期中期計画の達成水準を維持し、これに加えて研究水準の指標として論文の筆頭著者(ファーストオーサー)やコレスポンディングオーサーの数及び学会におけるゲストスピーカーやパネリストの数について次の水準を確保する(毎年度)。 【研究論文数、学会発表数、著書数】 ・欧文学術誌発表論文数 40件 ・邦文学術誌発表論文数 55件 ・国際的な学会発表数 40件 ・全国規模の学会発表数 145件 ・著書数(欧文・邦文) 25件 【研究水準の指標】 ・欧文学術誌発表論文における単著、筆頭著者、コレスポンディングオーサー数 8件 ・邦文学術誌発表論文における単著、筆頭著者、コレスポンディングオーサー数 8件 ・国際的な学会発表における筆頭著者数 5件 ・国際的な学会におけるゲストスピーカーやパネリスト 2件 ・全国規模の学会におけるゲストスピーカーやパネリスト 10件		<<達成水準の取組状況>> ●達成水準① ◆各年度の取組の目安 <table border="1" data-bbox="1121 613 2139 674"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>30件</td><td>30件</td><td>30件</td><td>30件</td><td>30件</td><td>30件</td></tr> </table> ◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/> <table border="1" data-bbox="1121 737 2139 798"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>69件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <補足> ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	30件	30件	30件	30件	30件	30件	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	69件																																																																			
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																																				
30件	30件	30件	30件	30件	30件																																																																																				
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																																				
69件																																																																																									
			●達成水準② ◆各年度の取組の目安 <table border="1" data-bbox="1121 999 2139 1171"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上</td><td>・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上</td><td>・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上</td><td>・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上</td><td>・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上</td><td>・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上</td></tr> </table> ◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/> 【研究論文数、学会発表数、著書数】 <table border="1" data-bbox="1121 1293 2139 1465"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>67件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>104件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>59件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>190件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>42件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 欧文学術誌発表論文数 邦文学術誌発表論文数 国際的な学会発表数 全国規模の学会発表数 著書数(欧文・邦文) 【研究水準の指標】 <table border="1" data-bbox="1121 1497 2139 1812"> <tr><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R7年度</th><th>R8年度</th><th>R9年度</th><th>R10年度</th></tr> <tr><td>43件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>77件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>30件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19件</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 欧文学術誌発表論文における単著、筆頭著者、コレスポンディングオーサー数 邦文学術誌発表論文における単著、筆頭著者、コレスポンディングオーサー数 国際的な学会発表における筆頭著者数 国際的な学会におけるゲストスピーカーやパネリスト 全国規模の学会におけるゲストスピーカーやパネリスト <補足> ※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	67件						104件						59件						190件						42件						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	43件						77件						30件						5件						19件							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																																				
・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上	・【研究論文数、学会発表数、著書数】及び【研究水準の指標】が左記の件数以上																																																																																				
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																																				
67件																																																																																									
104件																																																																																									
59件																																																																																									
190件																																																																																									
42件																																																																																									
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																																																				
43件																																																																																									
77件																																																																																									
30件																																																																																									
5件																																																																																									
19件																																																																																									

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等												
	③大学ホームページや学術リポジトリなど様々な媒体やシンポジウムなどを通して、研究の成果等を積極的に公表する。		<p>●達成水準③</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 239 2139 319"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・研究の成果等の公表</td> <td>・研究の成果等の公表</td> <td>・研究の成果等の公表</td> <td>・研究の成果等の公表</td> <td>・研究の成果等の公表</td> <td>・研究の成果等の公表</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績) ・学術リポジトリに学長裁量教育研究費や論集、東アジア評論などの研究成果を掲載するとともに学会での発表や論文などの各種受賞情報をホームページで積極的に公表した。</p> <p>(令和6年度実績) ・</p> <p>(令和7年度実績) ・</p> <p>(令和8年度実績) ・</p> <p>(令和9年度実績) ・</p> <p>(令和10年度実績) ・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>＜中期計画の達成状況＞ 【途中評価(4年目終了時)】 <令和5～8年度の実績の概要> ・ <令和9～10年度取組予定・中期計画の達成見込> ・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】 <令和5～10年度の実績の概要> ・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表	・研究の成果等の公表												

I 大学の教育研究の質の向上及び地域貢献に関する目標
3 地域貢献に関する目標

中期目標
(10) 地域との連携の強化
自治体や民間企業等との連携を深め、地域のシンクタンクとして研究、提案・協力を積極的に進める。
また、情報セキュリティ産学共同研究センターを活用し、地域のニーズに応える研究や優秀な人材の育成に積極的に取り組み、即戦力となる最先端のセキュリティ人材や地域に貢献できる人材を輩出するとともに、地元産業の振興や企業誘致との連携を図る。
(11) 教育研究成果等の地域への積極的な還元及び県民への学びの機会の提供
地域経済の発展、県民の健康・生活・文化の向上に貢献するため、教育研究成果等を地域社会に積極的に還元する。
また、佐世保校の新キャンパス整備を契機として、大学一体となってさらに県民の生涯学習の拠点として、地域に開かれた大学としての取組を推進するとともに、リカレント教育の強化を図る。

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																								
<p>(10) 地域との連携の強化</p> <p>【16】地域のシンクタンクとして、自治体・民間企業等との研究や自治体等の各種委員会・審議会の委員への就任、地域企業・医療機関・職能団体等の研修への講師派遣等の依頼、自治体等からのプロジェクト協力要請に積極的に応じ、学術機関としての知見の還元や関係者の専門性の向上に寄与する。</p>	<p>①自治体等の各種委員会・審議会の委員への就任及び研修への講師派遣 350件(毎年度)</p>		<p>≪達成水準の取組状況≫</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 577 2139 640"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>350件</td> <td>350件</td> <td>350件</td> <td>350件</td> <td>350件</td> <td>350件</td> </tr> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1121 703 2139 766"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>411件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><補足></p> <p>※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>≪中期計画の達成状況≫</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込></p> <p>・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	350件	350件	350件	350件	350件	350件	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	411件							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
350件	350件	350件	350件	350件	350件																								
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
411件																													
<p>【17】情報セキュリティ産学共同研究センターにおいて、県や企業等と連携した実践的な教育を行い、即戦力となる最先端のセキュリティ人材の育成や県内産業の振興に貢献する。</p> <p>また、リカレント教育や地域のニーズに応える研究を行い、地元産業の振興、人材育成に貢献する。</p>	<p>①即戦力となる最先端のセキュリティ人材を育成するため、企業等と連携した実践的な教育を行う。</p>		<p>≪達成水準の取組状況≫</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 1344 2139 1449"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>・知的財産等の取り扱いについて調査、検討</td> <td>・企業等と連携した実践的な教育の実施</td> <td>・企業等と連携した実践的な教育の実施</td> <td>・企業等と連携した実践的な教育の実施</td> <td>・企業等と連携した実践的な教育の実施</td> <td>・企業等と連携した実践的な教育の実施</td> </tr> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・企業との共同研究等において積極的に学生を参加させ、企業等が実際に抱える課題に取り組みさせることで即戦力となるセキュリティ人材の育成に繋げた。知的財産の取り扱いについては、共同研究等に参加する学生への機密保持の誓約書の取扱いとともに整備を進めていたが、より状況等を整理したうえでの対応が必要との判断になり、令和6年度以降、他大学の状況を調査し全学的に規格等を整備する方向で別途調整することとなった。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・知的財産等の取り扱いについて調査、検討	・企業等と連携した実践的な教育の実施	・企業等と連携した実践的な教育の実施	・企業等と連携した実践的な教育の実施	・企業等と連携した実践的な教育の実施	・企業等と連携した実践的な教育の実施		<p>※実績報告書において、実施した教育が即戦力となる最先端のセキュリティ人材の育成や県内産業の振興に繋がる内容であったことがわかるように記載</p>												
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
・知的財産等の取り扱いについて調査、検討	・企業等と連携した実践的な教育の実施	・企業等と連携した実践的な教育の実施	・企業等と連携した実践的な教育の実施	・企業等と連携した実践的な教育の実施	・企業等と連携した実践的な教育の実施																								

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																				
	②情報セキュリティ分野等におけるリカレント教育を実施する。		<p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 268 2139 401"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・県内企業等における要望等の情報収集、実施に向けた検討</td> <td>・リカレント教育の実施</td> <td>・リカレント教育の実施</td> <td>・リカレント教育の実施</td> <td>・リカレント教育の実施</td> <td>・リカレント教育の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実績報告書において、地元産業の振興、人材育成にどう貢献したかがわかるように記載</p> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・長崎県が実施するサイバーセキュリティ人材育成講座に参加した県内企業に対しアンケート調査を実施し、リカレント講座の要望等の情報収集を行った。今後、要望を踏まえ実施内容についての検討を進めていく。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>≪中期計画の達成状況≫</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p><令和9~10年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・県内企業等における要望等の情報収集、実施に向けた検討	・リカレント教育の実施	・リカレント教育の実施	・リカレント教育の実施	・リカレント教育の実施	・リカレント教育の実施																										
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
・県内企業等における要望等の情報収集、実施に向けた検討	・リカレント教育の実施	・リカレント教育の実施	・リカレント教育の実施	・リカレント教育の実施	・リカレント教育の実施																																				
<p>(11) 教育研究成果等の地域への積極的な還元及び県民への学びの機会の提供</p> <p>【18】 企業等向けのセミナーや一般県民向けの公開講座等の開催などにより教育研究成果等を地域社会に積極的に還元する。</p> <p>また、地域に開かれた大学としてリカレント教育の強化に取り組むとともに、佐世保校の新校舎(地域交流棟)整備を契機に、大学一体となった生涯学習への支援をさらに推進する。</p>	<p>①セミナーや公開講座等を開催する。また、公開講座等のメニューを県民ニーズに合った講座とするため毎年度、検証及び改善を行い、講座の充実を図る。</p> <p>・企業等向けセミナー 10回(毎年度)</p> <p>なお、令和10年度には15回を目指す。</p> <p>・公開講座の開催回数 10回(毎年度)</p> <p>・公開講座 アンケート満足度 85%(毎年度)</p>		<p>≪達成水準の取組状況≫</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 1373 2139 1505"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%</td> <td>・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%</td> <td>・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%</td> <td>・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%</td> <td>・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%</td> <td>・セミナー15回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1121 1570 2139 1688"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10回</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>97.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>企業等向けセミナー 開催回数 公開講座 開催回数 公開講座 アンケート満足度</p> <p><補足></p> <p>※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー15回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	14回						10回						97.0%							
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー10回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%	・セミナー15回 ・公開講座10回 ・アンケート満足度85%																																				
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
14回																																									
10回																																									
97.0%																																									

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																				
	<p>②大学の授業科目を広く県民に公開するため、聴講生及び科目等履修生の募集広報を積極的に行う。また、地域のニーズを踏まえてリカレント教育向けの公開講座を開催する。 ・リカレント教育向け公開講座5講座(毎年度)</p> <p>③地域交流棟については、県民の生涯学習や大学と地域の交流の場として令和7年度から本格的に活用する。</p>		<p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 268 2139 331"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>5講座</td> <td>5講座</td> <td>5講座</td> <td>5講座</td> <td>5講座</td> <td>5講座</td> </tr> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1121 394 2139 457"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>5講座</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><補足></p> <p>※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>●達成水準③</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 657 2139 762"> <tr> <td>R5年度</td> <td>R6年度</td> <td>R7年度</td> <td>R8年度</td> <td>R9年度</td> <td>R10年度</td> </tr> <tr> <td>・地域交流棟の活用に向けた検討</td> <td>・地域交流棟の活用方法の決定</td> <td>・地域交流棟の活用</td> <td>・地域交流棟の活用</td> <td>・地域交流棟の活用</td> <td>・地域交流棟の活用</td> </tr> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・地域交流棟の活用について検討し、地域公開講座の会場として利用を開始した。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>《中期計画の達成状況》</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込></p> <p>・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	5講座	5講座	5講座	5講座	5講座	5講座	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	5講座						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・地域交流棟の活用に向けた検討	・地域交流棟の活用方法の決定	・地域交流棟の活用	・地域交流棟の活用	・地域交流棟の活用	・地域交流棟の活用		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
5講座	5講座	5講座	5講座	5講座	5講座																																				
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
5講座																																									
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																				
・地域交流棟の活用に向けた検討	・地域交流棟の活用方法の決定	・地域交流棟の活用	・地域交流棟の活用	・地域交流棟の活用	・地域交流棟の活用																																				

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等												
【19】地域住民の学びの場として、図書館等の大学施設の開放を行う。	①地域等に有効に活用されるよう、教育研究等の大学運営に支障のない範囲内で、図書館、講義室、体育館等の大学施設を積極的に開放する。		<p>《達成水準の取組状況》</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 268 2139 352"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・大学施設の開放</td> <td>・大学施設の開放</td> <td>・大学施設の開放</td> <td>・大学施設の開放</td> <td>・大学施設の開放</td> <td>・大学施設の開放</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・地域住民(学外者)には、令和5年度より特段の制限を設けず施設の開放を行った。ただし、シーボルト校図書館においては他施設と異なり、館内での学生との接触機会が多いため実習を控えた看護等の学生の感染リスクを考慮し時短での開放としている。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>《中期計画の達成状況》</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込></p> <p>・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・大学施設の開放	・大学施設の開放	・大学施設の開放	・大学施設の開放	・大学施設の開放	・大学施設の開放		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・大学施設の開放	・大学施設の開放	・大学施設の開放	・大学施設の開放	・大学施設の開放	・大学施設の開放												

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標
1 組織運営の改善に関する目標

中期目標
(12) 大学運営の基盤強化
機動的かつ効率的な法人運営を行うために、理事長と学長がリーダーシップを発揮しやすい体制を整備するとともに、すべての教職員が役割を発揮し協働するガバナンスを推進するため、IRや各部局の機能の充実を図る。
(13) 教員評価制度の検証と見直し
現行の教員評価制度の妥当性を検証し、必要に応じて制度の見直しを図る。
(14) 教職員等の法令遵守（コンプライアンス）及びリスク管理
県立大学として、地域社会の期待と信頼を損なわないために、教職員の法令遵守（コンプライアンス）やリスク管理、情報セキュリティ対策を徹底するとともに、学生に対してもその啓発を行う。
(15) 大学の今後のあり方の検討
学部学科再編等の教育改革の点検・検証を踏まえ、大学を取り巻く情勢の変化を見据えて、予測困難な社会に対応する文理融合型の学びの実現や長崎県の発展に寄与する新学科等に関する検討も含め、大学の今後のあり方を検討する。また、大学間の連携等を推進し効果的・効率的な大学運営による教育機能等の拡充を図る。

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由（実施状況やその成果等）	ウエイト	評価委員会意見等																								
<p>(12) 大学運営の基盤強化</p> <p>【20】法人・大学の重要課題に的確かつ機動的に対応するため、IR及び各部局がその機能を十分に発揮できるよう理事長・学長の指示系統を明確にし、部局横断的な協働体制を強化する。</p>	<p>①理事長・学長が方針決定の根拠とするため、情報収集やIRによるデータ分析等を指示し、その報告を受け、方針の実現を図る体制を令和5年度中に検討し、設置する。</p> <p>②各部局が役割を十分発揮できるよう、理事会、経営協議会、教育研究評議会等の情報を学内に積極的に共有するとともに、教職員において適切な役割分担を行い、協働を促進する。</p>		<p>《達成水準の取組状況》</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 632 2139 716"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・体制の検討、設置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績) 今後の諸課題に対応する方針を決定するため、理事長、学長、両校副学長及び両校事務局長をメンバーとする体制を整え、そこで議論した方針を法人及び大学内の組織に伝え、検討を指示した。</p> <p>(令和6年度実績) .</p> <p>(令和7年度実績) .</p> <p>(令和8年度実績) .</p> <p>(令和9年度実績) .</p> <p>(令和10年度実績) .</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 1276 2139 1436"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働</td> <td>・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働</td> <td>・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働</td> <td>・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働</td> <td>・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働</td> <td>・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価（4年目終了時）】 <input type="text"/> 【期間評価（6年目終了時）】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績) ・各会議の議事録を学内に共有するとともに大学ホームページにも公表した。また、教職員において適切な役割分担を行い、学内委員会を教職協働で開催した。</p> <p>(令和6年度実績) .</p> <p>(令和7年度実績) .</p> <p>(令和8年度実績) .</p> <p>(令和9年度実績) .</p> <p>(令和10年度実績) .</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・体制の検討、設置						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
・体制の検討、設置																													
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働	・理事会等の情報の学内での共有 ・教職員における協働																								

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等												
			<<中期計画の達成状況>> 【途中評価(4年目終了時)】 <令和5~8年度の実績の概要> . <令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込> . 【期間評価(6年目終了時)】 <令和5~10年度の実績の概要> .														
(13) 教員評価制度の検証と見直し 【21】教育・研究・社会貢献・大学運営における教員の貢献がよりの確に評価されるよう現行の教員評価制度の妥当性を検証し、必要に応じて制度の見直しを図る。	①教員評価実施基準等の検証・見直しを行う。		<<達成水準の取組状況>> ●達成水準① ◆各年度の取組の目安 <table border="1" data-bbox="1121 621 2139 701"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・検証の実施及び改善</td> <td>・検証の実施及び改善</td> <td>・検証の実施及び改善</td> <td>・検証の実施及び改善</td> <td>・検証の実施及び改善</td> <td>・検証の実施及び改善</td> </tr> </tbody> </table> ◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/> (令和5年度実績) ・各教員からの意見等をもとに教員評価実施基準を点検し、大学院教育や学長による評価部分の見直しを行った。 (令和6年度実績) . (令和7年度実績) . (令和8年度実績) . (令和9年度実績) . (令和10年度実績) . ※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。 <<中期計画の達成状況>> 【途中評価(4年目終了時)】 <令和5~8年度の実績の概要> . <令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込> . 【期間評価(6年目終了時)】 <令和5~10年度の実績の概要> .	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善	・検証の実施及び改善												

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																																
<p>(14) 教職員等の法令遵守(コンプライアンス)及びリスク管理</p> <p>【22】法令、学則並びに諸規程(以下、法令等という。)を遵守するよう教職員や学生に啓発を行うとともに、災害や事故等の不測の事態に機動的に対応できるよう安全管理に対する啓発を行う。</p> <p>また、個人情報や重要情報の保護の観点から情報セキュリティ向上のための取組を行う。</p>	<p>①法令等に違反する行為又はそのおそれがある行為に関する通報・相談(公益通報)窓口を設置するとともに、通報者の保護を図る。また、教職員に対し、リスクマネジメントの観点から、安全管理に関する啓発を行う。</p> <p>・教職員のコンプライアンス教育研修受講率 100%</p> <p>・管理職のハラスメント防止研修受講率 100%</p> <p>・教職員の情報セキュリティに関する研修受講率 100%</p> <p>②学生に対し、法令遵守(コンプライアンス)及びリスクマネジメントの観点から、安全管理に関する啓発を行う。</p>		<p>《達成水準の取組状況》</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 300 2139 380"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・各研修の受講率100%</td> <td>・各研修の受講率100%</td> <td>・各研修の受講率100%</td> <td>・各研修の受講率100%</td> <td>・各研修の受講率100%</td> <td>・各研修の受講率100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1121 474 2139 674"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員のコンプライアンス教育研修受講率</p> <p>管理職のハラスメント防止研修受講率</p> <p>教職員の情報セキュリティに関する研修受講率</p> <p><補足></p> <p>・FD研修会や一斉メール等で学長自らハラスメントやコンプライアンス、情報インシデントの防止などの指導・啓発を行うことで教職員全体の意識向上を図った。また、ハラスメント防止研修会については、全学的に実施し欠席者向けに動画共有も行うことで組織的な取組みを行った。</p> <p>・令和5年度においては、指導教員から学生に対するアカデミックハラスメントやカラ雇用での研究費の不正使用、しまなびで利用しているシステムへの不正アクセスが起きた。令和6年度以降、法人としてより一層のガバナンスの確保及び教職員の法令遵守及びリスク管理を徹底し、再発防止に努める。</p> <p>※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 1020 2139 1100"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・安全管理に関する啓発の実施</td> <td>・安全管理に関する啓発の実施</td> <td>・安全管理に関する啓発の実施</td> <td>・安全管理に関する啓発の実施</td> <td>・安全管理に関する啓発の実施</td> <td>・安全管理に関する啓発の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・年度初めや長期休業期間前に薬物乱用やSNSのトラブル等に関する啓発活動を行うことで、学生の意識向上を図った。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>《中期計画の達成状況》</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込></p> <p>・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	100%						100%						100%						R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%	・各研修の受講率100%																																																
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
100%																																																					
100%																																																					
100%																																																					
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																																																
・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施	・安全管理に関する啓発の実施																																																

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等												
<p>(15) 大学の今後のあり方の検討</p> <p>【23】平成28年度に実施した学部学科再編や実践教育を重視した教育課程導入等の教育改革について点検・検証を行うとともに、学部学科の不断の教育改善に取り組む。</p> <p>また、新しい社会・企業のニーズに柔軟に対応するとともに長崎県の発展に寄与できる人材育成の観点や大学間の連携等の視点を含めて、大学の今後のあり方について検討する。</p>	<p>①大学の今後のあり方を検討する組織を設置(令和5年度)する。企業・自治体へのアンケートや卒業生調査等の導入の検討を行い、アンケート等調査を試行(令和6年度)した上で、アンケート等調査を実施(令和7~9年度)し、大学の今後のあり方を令和10年度までに検討する。</p>		<p>≪達成水準の取組状況≫</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 268 2139 380"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・検討する組織の設置及び調査等の導入の検討</td> <td>・アンケート等調査の導入検討、試行</td> <td>・調査、分析、あり方の検討</td> <td>・調査、分析、あり方の検討</td> <td>・調査、分析、あり方の検討</td> <td>・今後の大学のあり方の方針の決定</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・大学の今後のあり方を検討する組織を設置したほか、令和6年度に行う予定のアンケート調査の試行に向けて、学内や他大学で実施しているアンケート調査について情報収集を行った。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>≪中期計画の達成状況≫</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込></p> <p>・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・検討する組織の設置及び調査等の導入の検討	・アンケート等調査の導入検討、試行	・調査、分析、あり方の検討	・調査、分析、あり方の検討	・調査、分析、あり方の検討	・今後の大学のあり方の方針の決定		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・検討する組織の設置及び調査等の導入の検討	・アンケート等調査の導入検討、試行	・調査、分析、あり方の検討	・調査、分析、あり方の検討	・調査、分析、あり方の検討	・今後の大学のあり方の方針の決定												

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																								
			<p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>																										
<p>(17) 事務組織の機能強化</p> <p>【25】業務の見直し等を行い事務の効率化を進めるとともに、県派遣職員の配置について大学の業務運営に効果的に貢献できるポストの検証を行うなど、適切な人員配置に努める。</p> <p>また、法人採用事務職員の資質向上を図るため、研修計画に基づいた研修を実施するとともに、意欲・能力を十分に発揮できるよう、働き方改革を推進するほか、事務職員を対象とした評価制度の妥当性を検証し、必要に応じて制度の見直しを図る。</p>	<p>①業務の見直し等を行い、事務の効率化を図る。業務内容、業務量の検証を行い、適正な人員配置の検討を行う。</p> <p>②職員人材育成プログラムに基づいた研修、全学的なSD研修を実施する。</p>		<p>＜達成水準の取組状況＞</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 386 2139 516"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施</td> <td>・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施</td> <td>・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施</td> <td>・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施</td> <td>・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施</td> <td>・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・年末調整システムを導入し事務負担の大幅軽減につながった。令和6年度に向けて各所属の業務量を整理し適正な人員配置の検討を進めた。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 1087 2139 1146"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SD研修の実施</td> <td>・SD研修の実施</td> <td>・SD研修の実施</td> <td>・SD研修の実施</td> <td>・SD研修の実施</td> <td>・SD研修の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・個別の資格取得支援や各所属で必要な専門性の高い研修やセミナーへ参加させることにより組織全体の能力向上につながった。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>＜中期計画の達成状況＞</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込></p> <p>・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・SD研修の実施	・SD研修の実施	・SD研修の実施	・SD研修の実施	・SD研修の実施	・SD研修の実施		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施	・業務の見直し等の実施及び業務内容等の検証の実施																								
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
・SD研修の実施	・SD研修の実施	・SD研修の実施	・SD研修の実施	・SD研修の実施	・SD研修の実施																								

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標
1 財務基盤の強化及び効率的な運営に関する目標

中期目標 (18) 外部資金の獲得及び効率的な法人運営
県費の交付を受けて運営される法人であることを踏まえ、外部資金等の獲得による自己収入の確保を図るとともに、常に費用対効果を意識し、業務全般の効率的な運営を行い、収支改善に努める。

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																																										
<p>(18) 外部資金の獲得及び効率的な法人運営</p> <p>【26】外部資金(研究費、寄附金等)の獲得による自己収入の確保を図るとともに、費用対効果を意識した効率的な運営を行い経費の節減に努める。</p>	<p>①外部資金獲得件数 630件 外部資金獲得金額 590百万円 (令和10年度までの累計)</p> <p>②法人の健全な経営を確保する観点から、「長崎県立大学法人収支計画」に基づき、効率的・効果的な運営を行う。</p>		<p>《達成水準の取組状況》</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 525 2136 604"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・105件 ・98百万円</td> <td>・210件 ・196百万円</td> <td>・315件 ・294百万円</td> <td>・420件 ・392百万円</td> <td>・525件 ・491百万円</td> <td>・630件 ・590百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <table border="1" data-bbox="1121 661 2136 798"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・137件 ・103百万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・137件 ・103百万円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>累計</p> <p>単年度</p> <p><補足></p> <p>※特筆すべき事項がある場合や達成できない場合に記載すること。</p> <p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 997 2136 1081"> <thead> <tr> <th>R 5年度</th> <th>R 6年度</th> <th>R 7年度</th> <th>R 8年度</th> <th>R 9年度</th> <th>R 10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・効率的・効果的な運営</td> <td>・効率的・効果的な運営</td> <td>・効率的・効果的な運営</td> <td>・効率的・効果的な運営</td> <td>・効率的・効果的な運営</td> <td>・効率的・効果的な運営</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績)</p> <p>・電気代、物価高騰に伴う適正な予算配分措置や物品調達時に競争入札または見積合わせを実施することにより経費節減に努めた。</p> <p>(令和6年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和7年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和8年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和9年度実績)</p> <p>・</p> <p>(令和10年度実績)</p> <p>・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>《中期計画の達成状況》</p> <p>【途中評価(4年目終了時)】</p> <p><令和5~8年度の実績の概要></p> <p>・</p> <p><令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込></p> <p>・</p> <p>【期間評価(6年目終了時)】</p> <p><令和5~10年度の実績の概要></p> <p>・</p>	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・105件 ・98百万円	・210件 ・196百万円	・315件 ・294百万円	・420件 ・392百万円	・525件 ・491百万円	・630件 ・590百万円	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・137件 ・103百万円						・137件 ・103百万円						R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営		
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																										
・105件 ・98百万円	・210件 ・196百万円	・315件 ・294百万円	・420件 ・392百万円	・525件 ・491百万円	・630件 ・590百万円																																										
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																										
・137件 ・103百万円																																															
・137件 ・103百万円																																															
R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度																																										
・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営	・効率的・効果的な運営																																										

IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標
1 評価の充実に関する目標

中期目標 (19) 厳格な自己点検・自己評価と外部評価の活用による法人運営の改善
中期目標及び中期計画の達成状況について、厳格な自己点検・自己評価を実施するとともに、法人評価委員会や認証評価機関による評価結果を法人運営の改善に結びつける。

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等																								
<p>(19) 厳格な自己点検・自己評価と外部評価の活用による法人運営の改善</p> <p>【27】中期目標、中期計画の達成状況について、厳格な自己点検・評価を実施し、法人評価委員会や認証評価機関による評価を受ける。 また、法人評価委員会や認証評価機関による評価結果を法人運営の改善に結びつける。</p>	<p>①中期計画の取組について、毎年度進捗状況を管理し、計画達成に向けた取組を促すとともに、教育研究等の状況について点検し、優れている点や改善すべき点等を評価して、その結果を公表する。また、定められた時期に法人評価委員会の評価を受ける。</p> <p>②令和8年度に認証評価機関の評価を受ける。評価結果における指摘事項等については、各部署で改善を行い、組織的にその進捗を管理する。</p>		<p>判断理由(実施状況やその成果等)</p> <p>●達成水準①</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 527 2139 638"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自己点検・評価の実施及び公表</td> <td>・自己点検・評価の実施及び公表</td> <td>・自己点検・評価の実施及び公表</td> <td>・自己点検・評価の実施及び公表</td> <td>・自己点検・評価の実施及び公表</td> <td>・自己点検・評価の実施及び公表</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績) ・令和4年度計画の実績について厳格に自己点検・評価を行い、法人評価委員会による評価を受けた。結果については学内で共有するとともに大学ホームページに公表した。</p> <p>(令和6年度実績) ・</p> <p>(令和7年度実績) ・</p> <p>(令和8年度実績) ・</p> <p>(令和9年度実績) ・</p> <p>(令和10年度実績) ・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p> <p>●達成水準②</p> <p>◆各年度の取組の目安</p> <table border="1" data-bbox="1121 1209 2139 1415"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理</td> <td>・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価に向けた準備</td> <td>・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価に向けた準備</td> <td>・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価の受審</td> <td>・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理</td> <td>・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/></p> <p>(令和5年度実績) ・令和2年度に受審した認証評価において「今後の進展が望まれる」とされた結果については、第4期中期計画に反映させ自己点検し、改善を行った。</p> <p>(令和6年度実績) ・</p> <p>(令和7年度実績) ・</p> <p>(令和8年度実績) ・</p> <p>(令和9年度実績) ・</p> <p>(令和10年度実績) ・</p> <p>※実績だけではなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。</p>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価に向けた準備	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価に向けた準備	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価の受審	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表	・自己点検・評価の実施及び公表																								
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度																								
・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価に向けた準備	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価に向けた準備	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理 ・認証評価機関による評価の受審	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理	・自己点検・評価の結果等を踏まえた改善及び進捗管理																								

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等
			<<中期計画の達成状況>> 【途中評価(4年目終了時)】 <令和5~8年度の実績の概要> ・ <令和9~10年度の取組予定・中期計画の達成見込> ・ 【期間評価(6年目終了時)】 <令和5~10年度の実績の概要> ・		

V その他業務運営に関する目標

中期目標 (21) 教育研究施設等の計画的整備・管理
 両キャンパスの良好な教育研究環境を確保するため、長期的な展望に立ち、計画的な維持・管理を行う。
 また、佐世保校建替えの早期完成に向けて、安全や教育環境に配慮しながら着実な事業の推進を図る。

中期計画	達成水準	目標期間中の自己評価※()内は途中評価結果(R5~R8)	判断理由(実施状況やその成果等)	ウエイト	評価委員会意見等												
(21) 教育研究施設等の計画的整備・管理 【29】良好な教育研究環境を維持するため、大学の施設や設備を計画的に整備するキャンパスマスタープラン(大学施設に係る個別施設計画)に沿い、適切な施設管理を行う。 佐世保校建替えにおいて、安全や教育環境に配慮しながら着実な事業の推進を図る。	①キャンパスマスタープラン(大学施設に係る個別施設計画)に沿い、計画的に施設の維持・補修を行う。 また「長崎県立大学佐世保校キャンパス整備基本構想」に基づき、佐世保校建替えの計画的推進を図り、第3期中期計画期間に完了した管理棟、食堂棟(1期)、武道館、地域交流棟に続き、新講義棟、食堂棟(2期)について整備を完了させる。		≪達成水準の取組状況≫ ●達成水準① ◆各年度の取組の目安 <table border="1" data-bbox="1121 499 2139 632"> <thead> <tr> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進</td> <td>・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進</td> <td>・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進</td> <td>・計画的な施設の維持・補修</td> <td>・計画的な施設の維持・補修</td> <td>・計画的な施設の維持・補修</td> </tr> </tbody> </table> ◆各年度の実績 【途中評価(4年目終了時)】 <input type="text"/> 【期間評価(6年目終了時)】 <input type="text"/> (令和5年度実績) ・両校のキャンパスマスタープランに基づき施設整備を計画的に行った。佐世保校キャンパス整備については大学院棟および講義棟(旧図書館)を解体し、新講義棟工事に着手した。 (令和6年度実績) ・ (令和7年度実績) ・ (令和8年度実績) ・ (令和9年度実績) ・ (令和10年度実績) ・ ※実績だけでなく、特筆すべき事項がある場合や達成できない場合も記載すること。 ≪中期計画の達成状況≫ 【途中評価(4年目終了時)】 <令和5~8年度の実績の概要> ・ <令和9~10年度取組予定・中期計画の達成見込> ・ 【期間評価(6年目終了時)】 <令和5~10年度の実績の概要> ・	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進	・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進	・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進	・計画的な施設の維持・補修	・計画的な施設の維持・補修	・計画的な施設の維持・補修		
R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度												
・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進	・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進	・計画的な施設の維持・補修 ・佐世保校建替えの計画的推進	・計画的な施設の維持・補修	・計画的な施設の維持・補修	・計画的な施設の維持・補修												